

岩本保育園

園目標【好きな遊びを見つけ 夢中になって遊ぶ子】

重点目標 ～ 遊びが広がり 深まる子 ～

2025 夏

6月の祇園祭や7月の富士まつりなどの『お祭』を経験したこともたちが自分でも作ってみたい、お店をやってみたいという気持ちや言葉が『おまつりごっこ』につながっていきました。



年少児が立っているのは、映画のスクリーンの中です。『映画館ごっこ』の始まりです。ままごと用のスカートを身に付けたり、ブロックを腕輪に見立てています。ここから遊びに必要なものは自分たちで作れるように、保育士が見通しを持って素材を準備しています。



年中児が夢中になっていた『おめんやさん』は、小さい子にも作ってあげたいという気持ちが芽生えました。こどもたち自身で、どんなお面がほしいのか小さいクラスのこどもたちに聞きにいく姿がありました。



100個以上収穫したのは...です。



部屋の中で『雨降り散歩』をしているのは2歳児です。傘をさしても、雨に濡れても、この同じイメージで遊ぶのが楽しいのです。



朝の涼しい時間帯に水やりをしているのは年長児です。仲間と一緒にどんな夏野菜を植えるのか、できたらどんな風に食べるのかを考えたり、相談したり、お家の方にも話を聞いて決めました。いくつ収穫したのかわかるように、シールを貼って残していました。

『手作り牛乳パック積み木』高く積んだり並べたりする所から遊びが始まります。



岩本保育園の森から生まれた『かぶとむし』は、年長児によって大切に育てられて第三世代になりました。

水をすくってカップに入れようと真剣なまなざしをしているのは0歳児です。指先や手首の発達が進み、道具を使ってできる事が増えてきます。



水遊びで作った色水は、部屋の中に持ってくると、ジュース屋さんになりました。



ホースとポールスティックをつなげると水しぶきがあがる発見を友だちと喜んでいます。



廊下によって、窓のなみちの空に虫いかにあることに気づきました。



テラスで上から落ちてくる水を、全身を使って楽しんでいる1歳児です。夏ならではの、水あそびの経験になります。

